

《具体的な取組》

<p>教科等授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題が明確に位置づいた授業の展開を工夫【提示黒板】 ○学習場面に自分の考えを書く、まとめる場を設ける。 ○授業の中に考える場と習熟・定着を図る場を位置づける。 ○対話力を育むための言語活動を行う（ペアトーク・グループトークの充実） ○事前・事中・事後も評価をこまめに行い、課題達成状況を把握する ○個別・補充指導の実施。 ○読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・年間読書目標75冊以上の設定と奨励 ○各教科における改善点 <ul style="list-style-type: none"> 〈国語〉 <ul style="list-style-type: none"> ・発表力の向上 ・対話力の基礎指導の充実（対話力の基礎あいうえお） ・漢字の定着 ・言語についての知識理解 〈算数〉 <ul style="list-style-type: none"> ・数量関係（単位換算の定着） 〈理科〉 <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験の充実 ・体験活動の充実 ・用語の理解・定着 	<p>校内研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業実践を通して、『一人ひとりの「主体的な学び」を育む小中一貫教育の創造～「対話的なコミュニケーション活動」を通して』を研究していく。 〈研究内容・方法〉 <ul style="list-style-type: none"> ① 思考の「質」を高める工夫 ② 「対話力」を定着させる工夫 ③ 新たな「発見」及び「自分の考え（知識）の更新・広がりや深まり」があるといった「自己の変容」が期待できる交流方法の工夫 〈教師の資質向上〉 <ul style="list-style-type: none"> ・教師の授業力向上【互見授業】等 ・他教科等への活用 <ul style="list-style-type: none"> ・国語・算数科・総合的な学習の時間等 ・日々の授業観察 ○道徳の時間の授業研究 ○人権・同和教育 	<p>家庭・地域との協働</p> <p>〈家庭〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の定着 <ul style="list-style-type: none"> 低：20～30分 中：30～40分 高：50～60分 ○家庭での読書習慣形成 <ul style="list-style-type: none"> ・週末親子読書の取組 ○宿題提出100%をめざす <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習強化週間」を設け調査・まとめ ○早寝・早起き・朝ご飯の奨励 <p>〈地域〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習支援（授業への協力） ○児童参加の行事計画と地域行事への積極的参加 ○閉校の取組への積極的な関わり ○あいさつ+1運動
<p>0校時や業間の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○かがやきタイムでの基礎・基本の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・毎日中休み後の15分間の充実した取組 ・算数科と国語科(週2)の基礎基本徹底と個に応じた発展問題 ・英語学習(週1) ・ペアトークのスキルを高める課題 ・弱点克服のための問題 ○読書習慣の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書 ・地域ボランティアの読み聞かせ ・6年生児童による下級生への読み聞かせ 	<p>小中一貫教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○碩田校区小中一貫教育の取組（碩田中、荷揚町小、中島小、住吉小） ○新設校開校に向けての取組 ○学力向上支援教員の活用 ○相互授業参観と共同研修 ○小・中合同研修 ○3小合同学年会 ○授業体験（小学校⇄中学校） ○小中合同学力分析会議・碩田校区学力向上会議（年間2回） ○各校への行事参加・交流活動の計画 <ul style="list-style-type: none"> ・3小学校合同活動・（のつはる自然の家、持久走大会、遠足など） ○学習規律の統一 <ul style="list-style-type: none"> ・聞き方「あいうえお」 ・話し方「かきくけこ」 ○生活規範の統一 	